



熊谷市 記者クラブ取材情報

令和元年9月26日発表
担当課:ラグビーワールドカッ
プ2019推進室

タイトル

ラグビーワールドカップ2019™日本大会パブリックビューイング(PV)

1. 日時

令和元年10月13日(日) 19:45~日本 V スコットランド
(17:15~ウェールズ V ウルグアイ)

令和元年11月2日(土) 18:00~決勝戦

2. 場所

熊谷ラグビー場Aグラウンド
ニットモール(熊谷市銀座二丁目245番地)

3. 事業概要

ラグビーワールドカップ2019™日本大会の「日本 V スコットランド」、
「ウェールズ V ウルグアイ」のパブリックビューイングを実施します。
熊谷ラグビー場Aグラウンドの大型ビジョンで試合を放映し、観客はメインスタン
ドから観戦できます。はなわ氏による応援ライブや、伊藤剛臣氏によるラグビー解
説を実施します。

出演者:はなわ、ドーキンズ英里奈、伊藤剛臣、ゆる玉フィフティーン

開場:16:00

入場:無料

●同日イベント

熊谷圏オーガニックフェス2019

開催時間:10:00~16:00

場所:熊谷スポーツ文化公園

今年で2回目の開催です。音楽&トークステージやフード&マルシェのテーマパー
ク、埼玉県全63市町村キーマン展示等を行います。環境に配慮したイベントで、
全店でリユース食器を使用します。

ラグビーワールドカップ2019™日本大会決勝戦のパブリックビューイングを実
施します。

出演予定者:三宅敬(解説)、四家秀治(実況)等 他出演者は今後決定

4. 特徴やPRポイント

熊谷ラグビー場の大型映像装置(811インチ/175m²)によるPVです。当日はキッ
チンカーも出店し、飲食をしながらメインスタンドの観客席から試合が楽しめます。
同日、PV開催前には、会場周辺で熊谷圏オーガニックフェス2019が開催されま
す。

5. その他

主催:2020ラグビー・パブリック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会

資料の有無(☒ 有 ・ 無)

担当者 ラグビーワールドカップ2019推進室 日野

連絡先 048-524-1111(内線344)

GREATER KUMAGAYA ORGANIC FES 2019

地元から始まり、
世界とつながるために。

2019/10/13 SUN 10:00-16:00

AT KUMAGAYA SPORTS CULTURE PARK

WWW.GREATERKUMAGAYA.JP

2019年10月13日(日) at 熊谷スポーツ文化公園
熊谷圏オーガニックフェス2019

埼玉最大級の野外フェス！

音楽！食！お酒！トーク！展示！ラグビー！

年齢問わず、家族で一日楽しめるイベントです。

是非！テント&レジャーシートをご持参ください。

全店リユース食器(有料)使用！

マイ食器&カップを持てこよう！

入場無料 雨天決行

◎ボランティアスタッフ募集中

◎会場までは公共交通機関をご利用ください。

JR熊谷駅から、路線バスを増便致します。

詳しくは

www.greaterkumagaya.jp 🔍

KUMAGAYA FES 2019

10:00-16:00

ARTIST

MINMI

GAKU-MC

河口恭吾

奇妙礼太郎

関取花

笹倉慎介

日本フィルハーモニー

交響楽団

FOOD & MARCHÉ

農福連携

暮らしマルシェ

コーヒーと日常

NEW HOLIDAY

OGAWA ORGANIC FES

空と僕の

オーガニックな関係

CHICHIBU CITY PROJECT

HOME GROWN

併
催

埼玉県全63市町村キーマン展示

MUSIC & TALK STAGE

音楽&トークステージ



MINMI



GAKU-MC



河川恭吾



奇妙礼太郎



関取花



笹倉慎介



日本フィルハーモニー交響楽団

FOOD & MARCHE

フード&マルシェ

埼玉最大級の野外フェスである理由は、埼玉最大のマーケットでもあるから!暮らしのステージでもある埼玉は、マーケット先進都市であることを体感して欲しい!このフェスでは、県内の感度の高いフード&マルシェがビレッジ方式で8つの村を作っています!今年は、埼玉県全63市町村キーマンが、『HOME GROWN』ビレッジとして登場し、お店の数は、150店舗以上!行きたかった、あのお店が!会いたかった、あの人が大集結!旅をするように、自分のライフスタイルにあったビレッジを見つけよう!熊谷には欠かせないラグビーゾーンも!オーガニックのある日常、その土地らしさのある日常、ラグビーのある日常を!

ORIGINAL GOODS

オリジナルグッズ販売



オーガニックコットンTシャツ

レジャーシート

※画像はイメージです。

リユースコップ
&
リユース食器



トートバック



EAT BEAT!
×
Ontenna

あの『EAT BEAT!』が登場!野菜を切る音、煮る音、炙る音。調理音、食べる音をその場で録音、編集し、楽曲に!食べることによって音が素材となって出来上がるのは『食べるエレクトロニカ』。『Ontenna』が、『EAT BEAT!』と合体!最高の相性のデバイスが、お互いを進化させる。

チケットはWebサイトから事前購入を!



TentSaunaParty

自然の中でサウナを楽しみ、心身ともに、ととのえる活動体、『TentSaunaParty』が、埼玉初上陸!10月ですが、サウナーは水着とサウナハットをもって、このフェスに集合!サウナー上級者はもちろん、初心者も、モバイルサウナで熱い蒸気を浴び、フェスの躍動を感じながら、秋の熊谷スポーツ文化公園で、自然との融合、融和を目指そう!

埼玉県
全63市町村
キーマン展示の
映像化!

リユース食器、マイ食器って、なあに?

環境持続型のフェスです!マイ食器(コップ、お皿、箸、スプーン)を持参することを推奨しております。注文時に、マイ食器を出して頂ければ、その食器に盛りつけ、100円引きに!エコステーションには、簡易的な食器洗い場もあります。マイ食器がない方のためのリユース食器とは、フード&マルシェの各店が使用する、使い捨てしない環境負荷の低い有料レンタル食器のことです。使用後は、エコステーションへ必ず返却して頂きます。返却すると先着で抽選券がもらえますので、リユース食器使用で、商品ゲット!また、自分で持ってきたゴミは、必ず自分で持ち帰ろう!購入したものに限り、ごみゼロナビゲーションもあり!ボランティアスタッフの協力で産廃物の削減を目指すと同時に、資源をリサイクルに回しています。

グレートー クマガヤ Greater KUMAGAYA (熊谷圏) って、なあに?

近隣市町村がつながり支え合う、オーガニック&サステナブル都市圏構想、それが、Greater KUMAGAYA(熊谷圏)です。奈良時代に成立されたとされる、現在の埼玉県と東京都のほぼ全域を包括する武蔵国(むさしのくに)があり、その後1871年(明治4年)には熊谷県として、武蔵国北部・上野国のほぼ全域を管轄するための“県”が設置されました。これは現在の埼玉県の大半、群馬県のほぼ全域にあたります。これらの歴史からも、現在の市町村を超えて、つながり支え合うことが重要であると私たちは考えます。

なんで、オーガニックなの?今年のフェスのテーマを教えてください

ホームグロウン シビックプライド
①HOME GROWN + CIVIC PRIDE

地元愛を育むことは、地元に誇りを持つこと。

ホームグロウンとは、本来「地元育ち」の意味ですが、このオーガニックフェスでは、ざっくり「地元愛を育む」ことをいいます。また、このフェスでは、「地元愛」を、持続可能な社会を構築するための中心概念として位置づけ、フェスを通して様々な人たちの「Organic(有機的なつながり)」を生んでいきます。その土地の自然や社会環境を守り、伝統文化を大切に、その地域ならではの個性、新たな可能性を育てること。そうした「地元愛」こそ世界が持続可能となるための原動力になると考えるからです。各市町村、各住民が愛してやまない、地元のいいところや郷土の誇り、名産を持ち寄り、競うだけではなく、地域同士がつながりあい、互いに応援エールを送る仕掛けをつくります。地元を愛する人たち、地域を愛する人たち、そして世界を、地球を愛する人たちが集結するフェス。「地元のためは、世界のため!世界のためは、地元のため!」まさにOne for All, All for Oneの精神です。

オーガニック ウェルフェア サステナブル フェアトレード
②ORGANIC + WELFARE そして、SUSTAINABLE + FAIR TRADE
SDGs時代の最先端を目指します。

SDGs時代のキーワード、「オーガニック」とは、食だけにとどまらず、自然と人、人と人とが有機的につながる、暮らしや生き方そのもの。「サステナブル」とは人間・社会・地球環境が持続可能であること。つまり、循環型社会を目指すことに他なりません。昨年2018は、リユース食器を導入することで、世界中で問題となっている使い捨てプラスチックを全廃し、画期的なゴミ減量化に取り組みました。もちろん会場内のフードについても、数多くの出店者、メニューにおいてオーガニック食材での提供を試みました。今年は更に、WELFARE(福祉)に取り組みます。SDGsに掲げられた理念「誰一人取り残さない」をフェスにおいても実践すべく、One for All, All for Oneの精神で、あらゆる方々が気軽に参加し、楽しめるよう配慮します。また、スポーツにおけるフェアプレイ同様、フェアな社会をつくるためにFAIR TRADEも進めます。気候変動の影響を受け、温暖化対策の先進都市へと進化している「日本一暑いまち」熊谷から、SDGs時代の最先端を目指そう!Think Global, Act Local!